

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月10日

【評価実施概要】

事業所番号	3611713219
法人名	医療法人 中西内科クリニック
事業所名	グループホーム 美郷
所在地	徳島県吉野川市美郷毛無92-3 (電話) 0883-26-7577
評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成19年 9月 6日

【情報提供票より】(平成19年 8月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年 7月 15日
ユニット数	2 ユニット
職員数	14 人
利用定員数計	18 人
常勤	12人, 非常勤 2人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	実費
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(8月18日現在)

利用者人数	18名	男性	9名	女性	9名
要介護1	4名	要介護2	2名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	4名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.5歳	最低	55歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・松本歯科クリニック ・中西内科クリニック
---------	-----------------------

徳島県 グループホーム美郷 1

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

県道から少し入った山間ではあるが、比較的人の行き交うところにあり、医療法人運営のため医療面に対するバックアップがある。利用者も働く介護者も安心のあるかわりと暮らしができています。また受診や入院、重度化や終末期の入院などの対応も家族と相談の上支援がなされている。自然豊かな環境でゆったりと穏やかに暮らしている様子が見えがえした。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>医療法人及び社会福祉法人の福祉サービス総合のパンフを作成し、ホームの理念が添付されている。チームケア会議録の保存については前回の外部評価調査後改善され、記録簿を作成保存されていたが、今年5月に管理者、職員等の異動があり、チームケア会議の定期的な実施ができていない。家族向けのホーム便りについては、毎月個人の状況報告とあわせ、写真なども添付し発行されていた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員各自で全体に目を通し、部分的なところを職員で話し合い検討をしている。全体を見ることで職員一人ひとりの視点や、取り組む姿勢など考えさせられることが多く、管理者をはじめ全職員が、この取り組みを前向きに捕らえ改善に繋げようとしている姿勢が見えがえした。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は法人が運営する複数のグループホーム合同で行われ、利用者の代表が参加し、定期的な実施されていた。会議の内容は各グループホームの事業や行事などの状況の報告や、外部評価についての取り組みなどが討議されていた。行政職員の参加はされていない。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ホームに意見箱の設置があり、外部の公的機関の相談窓口も伝えている。また、家族の方の面会時や電話などの時に意見や苦情、不安について直接聞いている。現在、意見などはあまり出していないが、安心して暮らせるように取り組んでいる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の小中学校の運動会に、参加させてもらったり、阿波踊りの連が来訪してくれる。また、毎日の散歩の途中、会った方と会話をしたり、畑でできた作物をもらうなど地域の方との交流もされている。</p>

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念の上に、地域密着型サービスについて職員で話し合い、地域とのつながりや、地域の中で共に助け合って生活することの大切さをもりこみ作成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念については職員と共に話し合っ決めて、日々の申し送りなどのときにも伝え、確認しあっている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の小中学校の運動会やお花見に参加したり、阿波踊りの連の来訪がある程度で、地域との交流は少ない。毎日の散歩などのとき、声を掛け合ったり、畑の作物を頂くなど、つながりを大切に広がりを持つ努力はされている。	<input type="checkbox"/>	利用者が、地域の一員としてかかわり合いながら暮らして行くために、地域の活動や行事に積極的に参加したり、双方向関係の交流に期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は、ホームに来てまだ日が浅いが、評価について職員と共に取り組む姿勢を持ち、具体的に話し合うことで、職員の意識やサービスに対する考え方など、具体的な改善に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	法人が経営するグループホーム合同で実施されており、外部評価の報告、情報の交換、状況把握、活動状況などが話し合われている。グループホーム美郷単独の運営推進会議は実施されていない。	<input type="checkbox"/>	運営推進会議は、各事業所で開催できるよう取り組まれない。また、地域に開かれたグループホームとなるように、参加メンバーも考慮しサービス向上につながるよう改善が望まれる。行政職員または、地域包括支援センター職員の参加も望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市への報告書類やパンフレットなどは、出向いて行き直接渡して少しでも話す機会を作っているが、十分とは言えない。	○	今後とも積極的にかかわりを持ち、サービス向上のための相談、報告、情報交換など協働の関係作りに努力が望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的にホーム便りを発行し、行事の写真も添えて渡し、日々の状況や小さな変化も伝えている。訪問の少ない家族には電話で状況を話し、郵送している。金銭管理についても法人事務所で管理し領収書も整理されている。時折出納簿をコピーするなどして渡している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱や苦情記入用紙などを備え、また家族とお話しするときにも、ご意見を伺うよう努めている。事業所内の相談窓口の表示と共に外部の相談機関も明示がされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動がある場合は、状況に応じて異動先から顔を見せに来てコミュニケーションを図ったり、新しい職員にはより多く利用者に関わってもらうよう配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の諸事情の関係からも、職員の研修が十分にできていない状況である。重要なことなどについては、申し送りやケア会議のときなどに行っている。管理者、職員共に意欲もあり、研修の重要性を理解しているため、早急に改善の計画が考えられている。	○	事業所内で毎月一回定期的に研修会を実施する計画をされているため、利用者のケアの情報、感染症、緊急時対応等の研修の実施を期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のグループホームとは運営推進会議などで管理者の交流もあり、情報の共有や、連携は取れている。また、グループホーム協会にも加入しているが、十分には参加できていない。	○	地域の同業者との交流や意見交換などの機会を、できる範囲で工夫されサービスの質の向上に取り組まれることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用の前には、見学や説明をしっかり行い、生活に慣れるまで家族に一日中ホームで一緒に過ごしてもらうなどして、ゆっくりと馴染んでもらう配慮がされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と寄り添って共に暮らすことを考えており、一声でも多く声を掛け、つながりを大切にする中でコミュニケーションも増え、経験したことや料理の仕方や味付けなど教えてもらっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりに関わる時間を大切にし、表現の少ない方には表情を読み取ったり、一緒に散歩に出かけ思いを聞いている。また、家族や関係者に本人の生活歴などを聞いて、希望や意向の把握に努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画には本人や家族の意向や希望を聞き、利用者がその人らしい暮らしができるように、職員みんなで意見を出し合い作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月で見直しを実施しているが、利用者の状況の変化や、職員の気づき、家族の希望などによりその都度見直しがされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院の送迎等、利用者や家族の要望にあわせた柔軟な支援がされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体の医療機関の24時間対応の体制がとられている。歯科医院とも連携が取れている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の状態や変化により、家族の意向など医師とも相談をしながら早い段階で説明を行い、家族の意思確認を行い支援を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりのプライバシーの尊重については朝礼時に繰り返し説明して、プライバシーを損ねない対応について職員の意識の向上を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはあるが、できるだけ一人ひとりの思いや体調にあった生活ができるように支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が好きで、作るのが得意なおすしや煮物、食事の下ごしらえ、後始末、机拭きなど職員と一緒にしていた。食事中も和やかに会話されていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴が不安な方は複数の職員でかわり、どの方にもゆっくとくつろいで入浴してもらえよう支援している。希望があれば毎日の入浴も行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事づくりの手伝い、配膳や掃除の役割分担、毎日の散歩、体操、時々の買い物や外出、月一回のカラオケ、プリンターに種まきをして毎日の水遣りなど、一人ひとりが何かに楽しみや気晴らしが持てるよう支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望にあわせ毎日周辺の散歩に出かけている。しかし、限られた方だけの支援となっている。	○	毎日散歩に出かける人はほぼ限られている状況があり、利用者一人ひとりの状況を見ながら、戸外に出る機会をつくる工夫が望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の行動や状態を把握して、安全に配慮し自由な暮らしを支援して、鍵をかけないケアをしているが、道路に面した建物の外側の入り口のみ、状況を確認しながら時折施錠をすることがある。	○	できるだけ鍵をかけないように取り組んでいかれたい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署、警察署の協力を得て避難訓練、消火器使用の実践など体験している。緊急連絡網の表示や方法も明示されている。地域との連携については協力が得られるよう見直しが必要である。	○	万一災害が起きたとき、地域の方々にどのように協力を頂くか、具体的な取り組みや、働きかけの工夫などの見直しが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランス、献立については法人内の管理栄養士に相談指導をお願いし作成している。毎日の食事摂取量、水分摂取量など一人ひとりに応じた支援がされている。記録も見やすく整理されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木製の温かみのある共有の空間で一人ひとりがくつろげる場所があり、季節の飾りや、花が生けられている。台所の音や匂いや動きなどが感じられ、みんなが集える居心地よい空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、馴染みの家具が持ち込まれ、家族や孫の写真が飾られている。また、仏壇を置き毎日手を合わせるなど、その人に合わせた使い勝手のよい居室が作られており居心地よく暮らせる場となっている。		